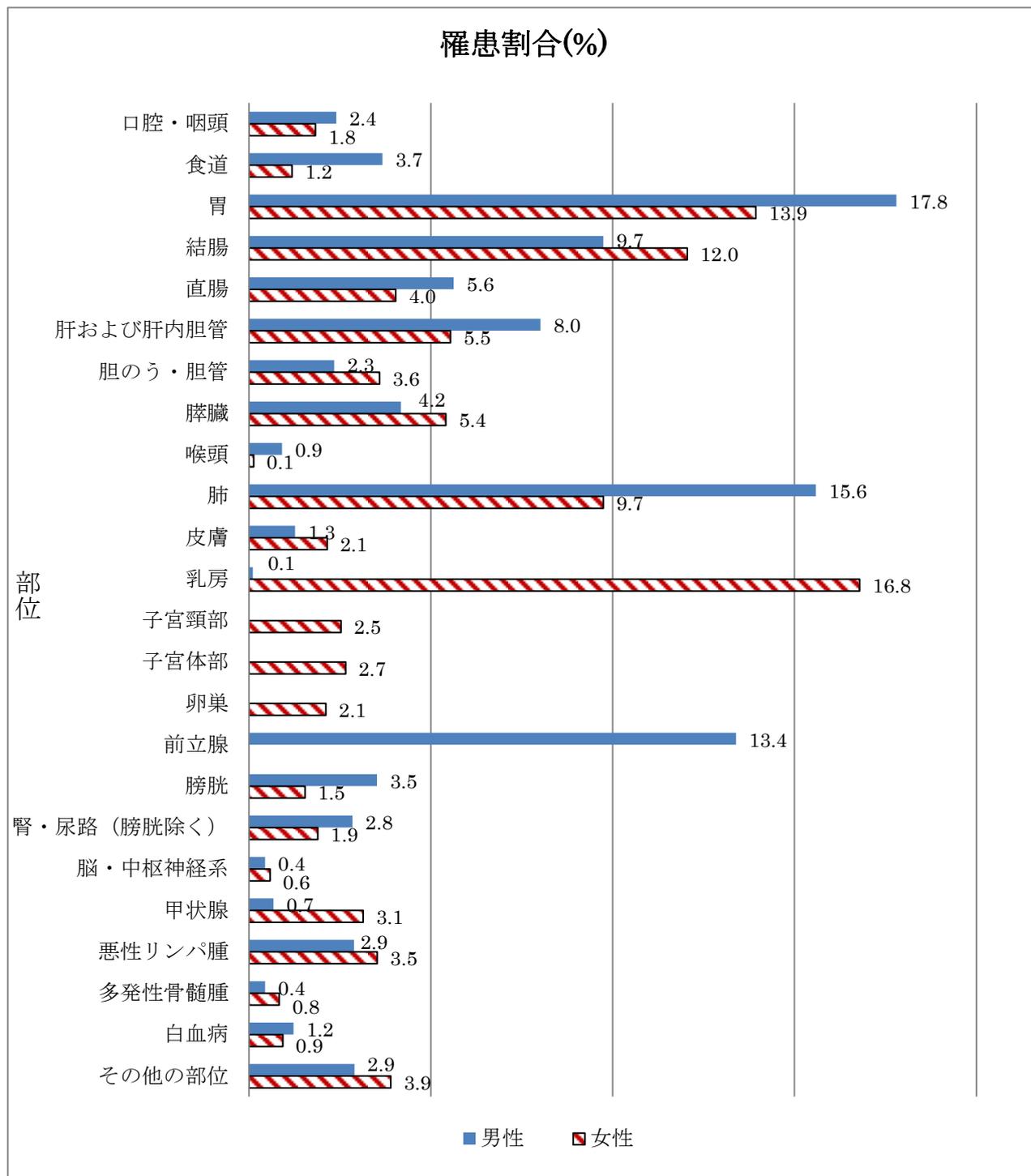


統計編

※ 公表結果の中で使用している全国平均の数値については、全国がん罹患モニタリング集計 2010 年罹患数・率報告（MCIJ2010）から引用している。

罹患割合（％）：部位別・性別

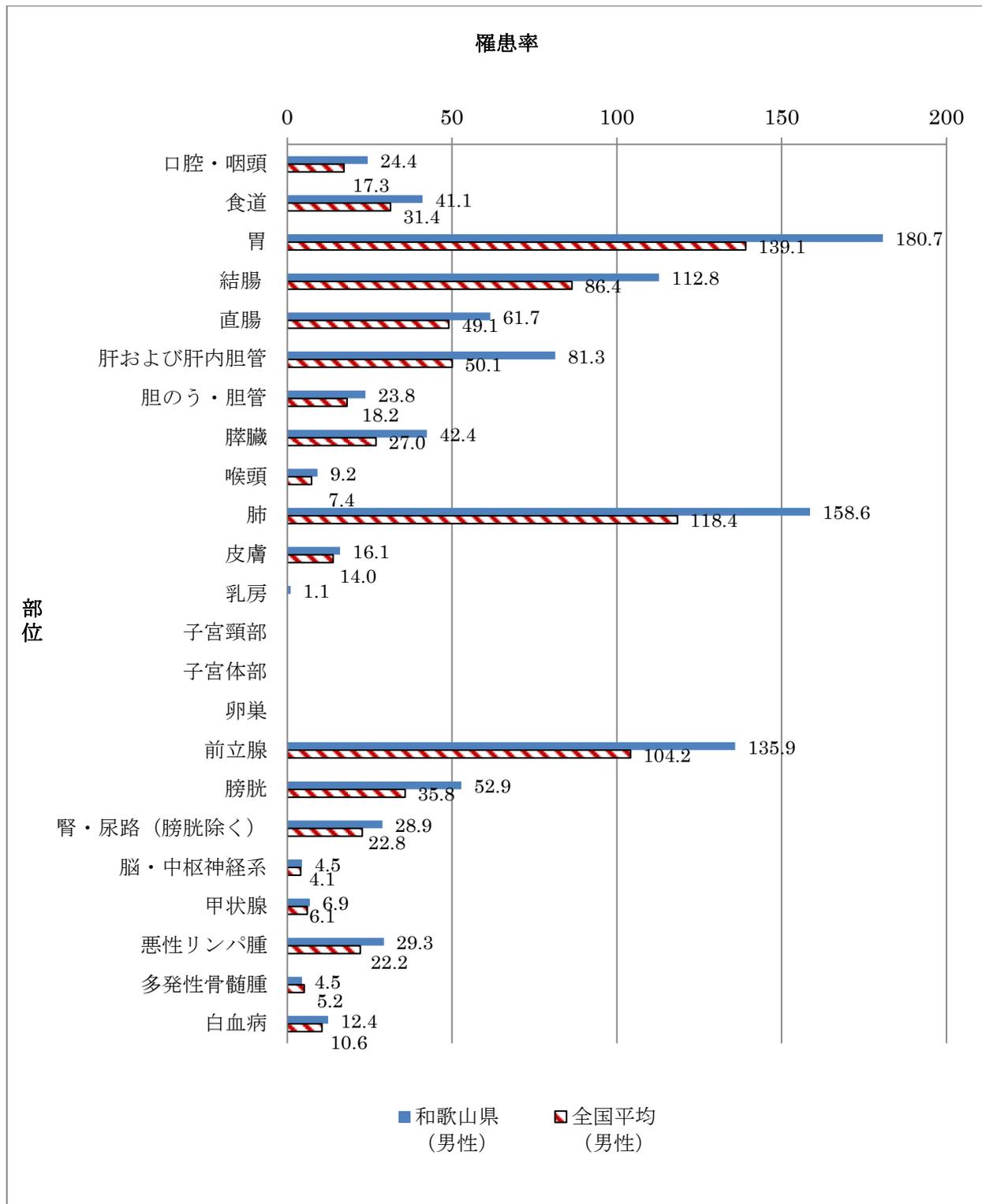
男性の罹患割合で最も多いのが、胃がんであり、次いで肺がん、前立腺がん、結腸がんである。女性で最も多いのが、乳がんであり、次いで胃がん、結腸がん、肺がんと続く。



※ 標準集計表の表 1-A から作成

部位別粗罹患率（男性）・和歌山県と全国平均との比較

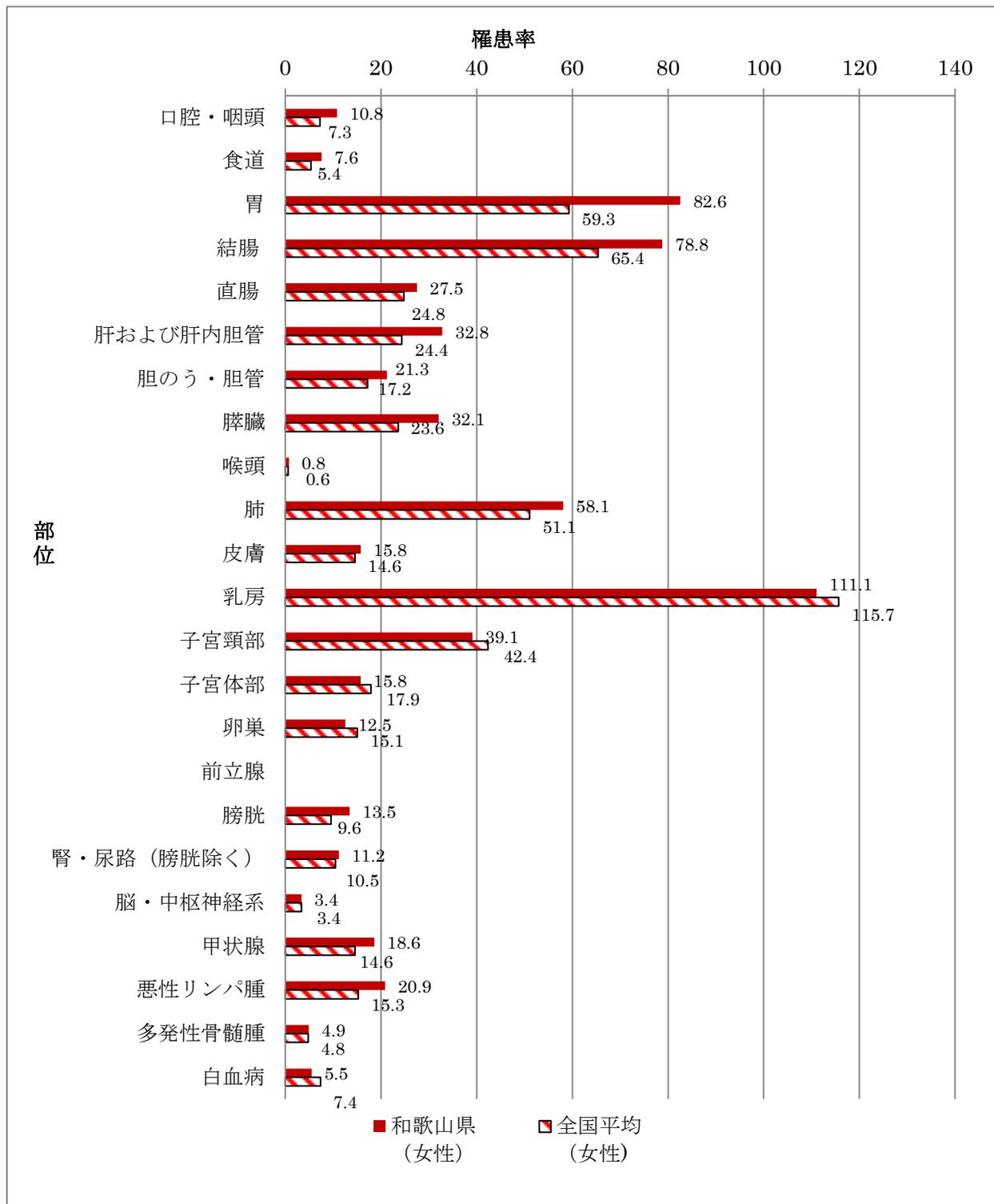
全国平均との比較で見ると、男性では多発性骨髄腫以外すべての部位で全国平均より高い粗罹患率となっている。特に、胃がん、結腸がん、肝および肝内胆管がん、肺がん、前立腺がんが顕著に高い割合を示している。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（女性）・和歌山県と全国平均との比較

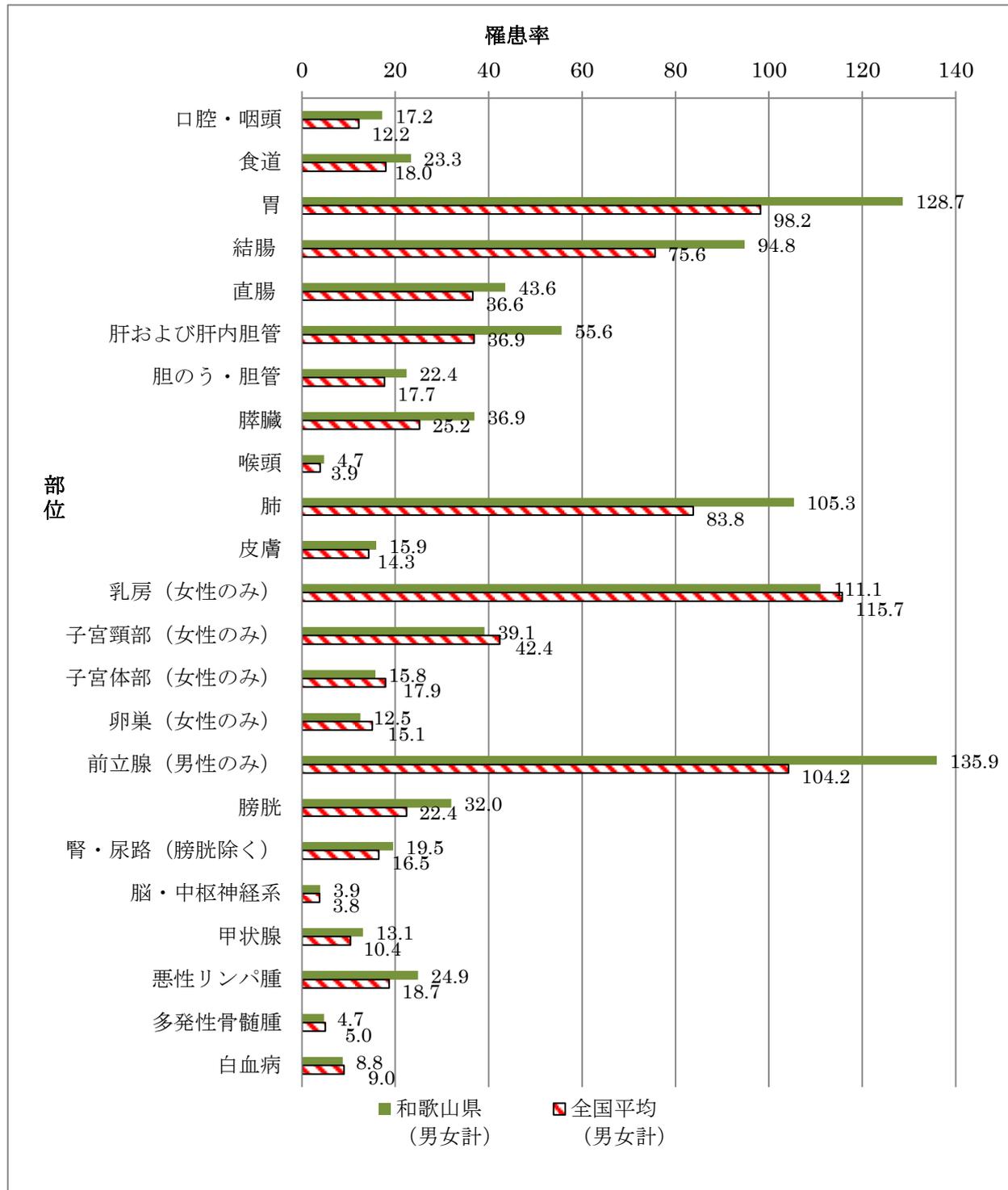
全国平均との比較でみると、女性では胃がん、結腸がん、肝および肝内胆管がん、膵臓がん、肺癌等が全国平均より高い粗罹患率となっているが、乳がん、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん等は低い割合である。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（男女計）・和歌山県と全国平均との比較

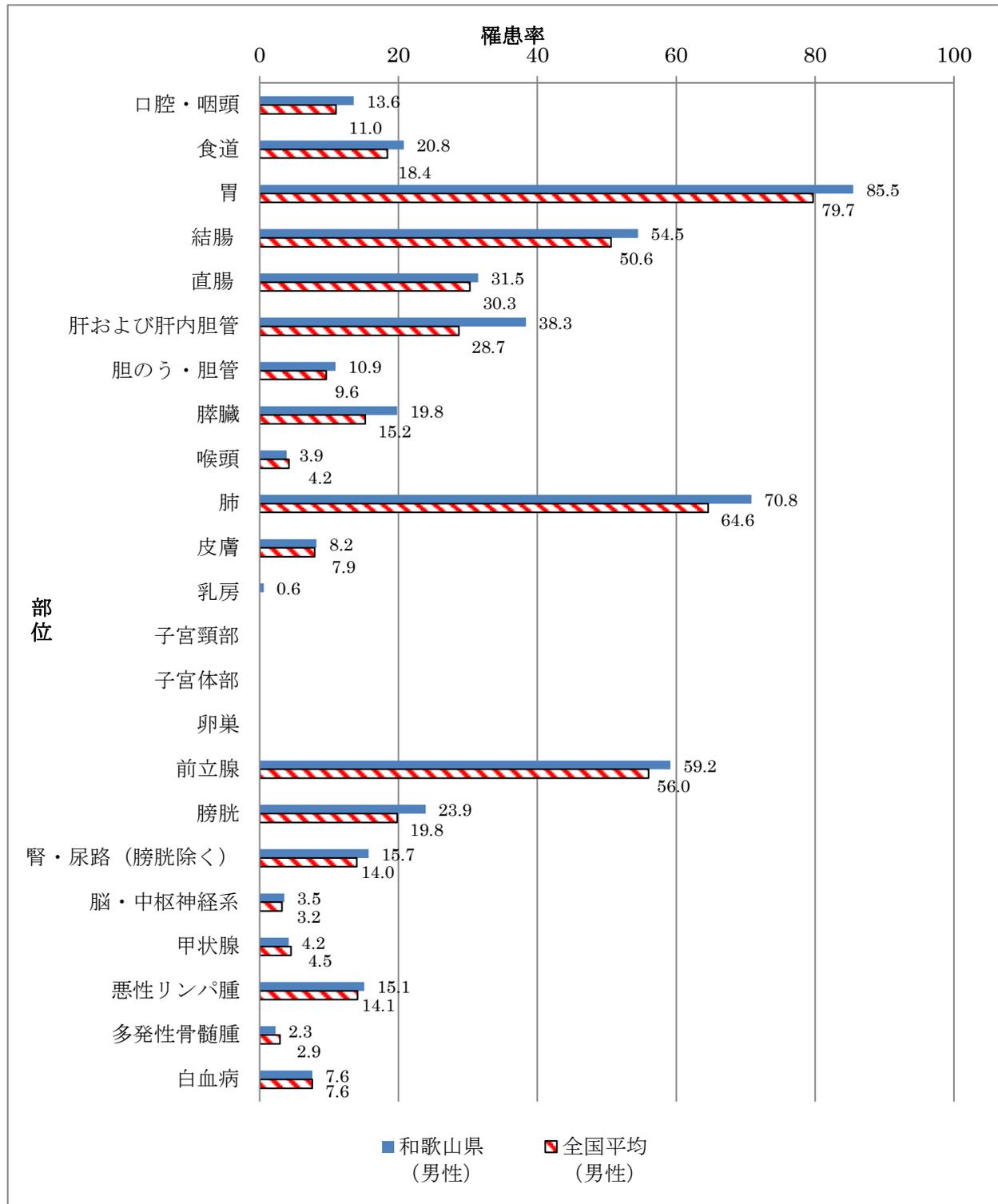
全国平均との比較で見ると、胃がん、結腸がん、肝および肝内胆管がん、肺がん、前立腺がんが全国平均より高い粗罹患率となっている。また、乳がん、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんはわずかであるが全国平均を下回っている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（男性）・和歌山県と全国平均との比較

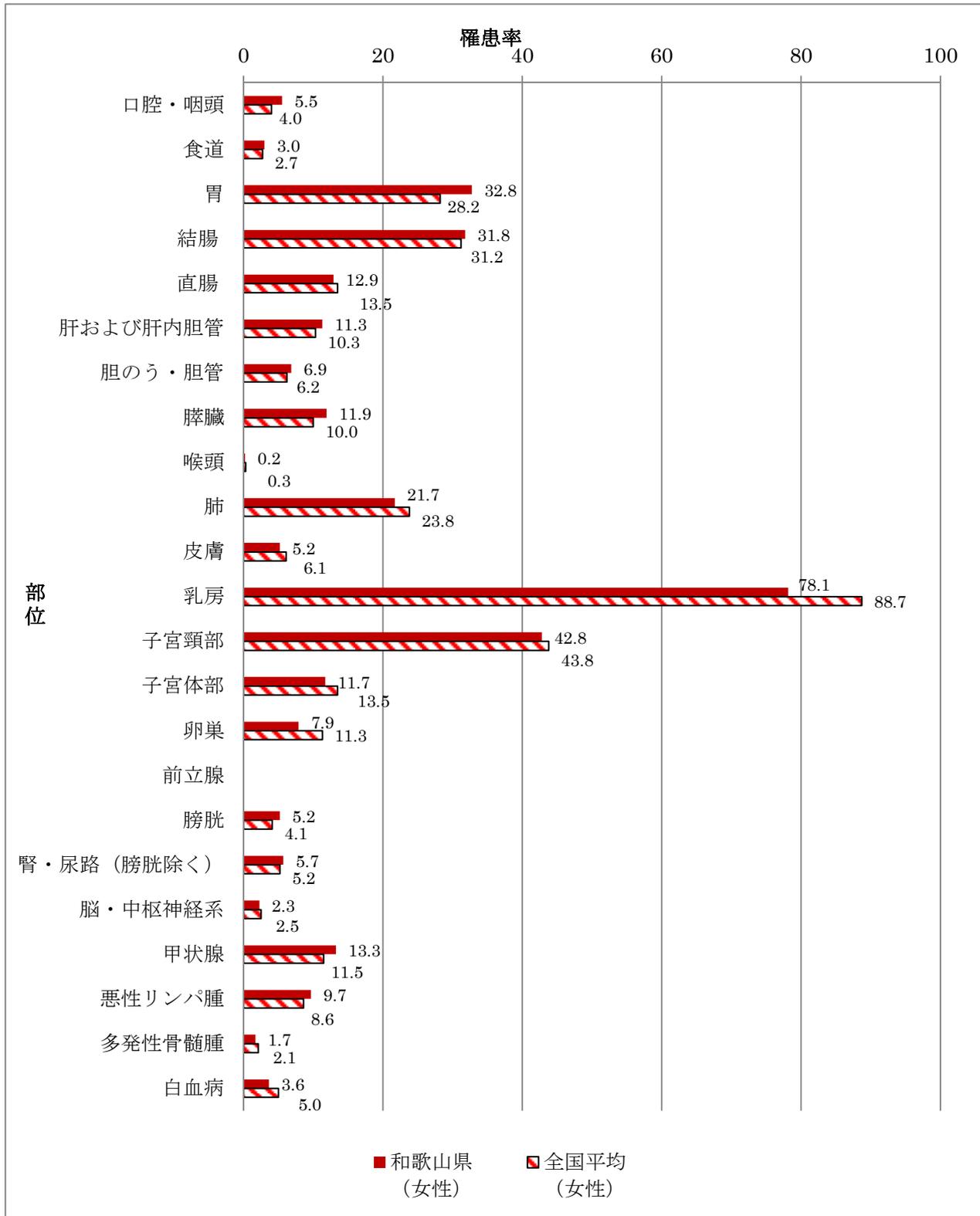
男性の年齢調整罹患率は、胃がん、肝および肝内胆管がん、肺がんで全国平均と比較すると高い罹患率を示しているが、年齢調整をすることにより、粗罹患率と比べるとその差は少なくなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（女性）・和歌山県と全国平均との比較

女性の年齢調整罹患率を全国平均と比較すると、乳がんがかなり低い罹患率を示している。一方で乳がん以外の部位は、年齢調整をすることにより、全国平均と比較すると、粗罹患率と比べてその差が小さくなっており、肺がんなどでは逆に低い罹患率になっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（男女計）・和歌山県と全国平均との比較

男女計の年齢調整罹患率は、全国平均と比較して、胃がん、肝および肝内胆管がん、前立腺がんが高く、乳がん、卵巣がんは低くなっている。しかしそれ以外はおおよそ全国平均と大差ない。

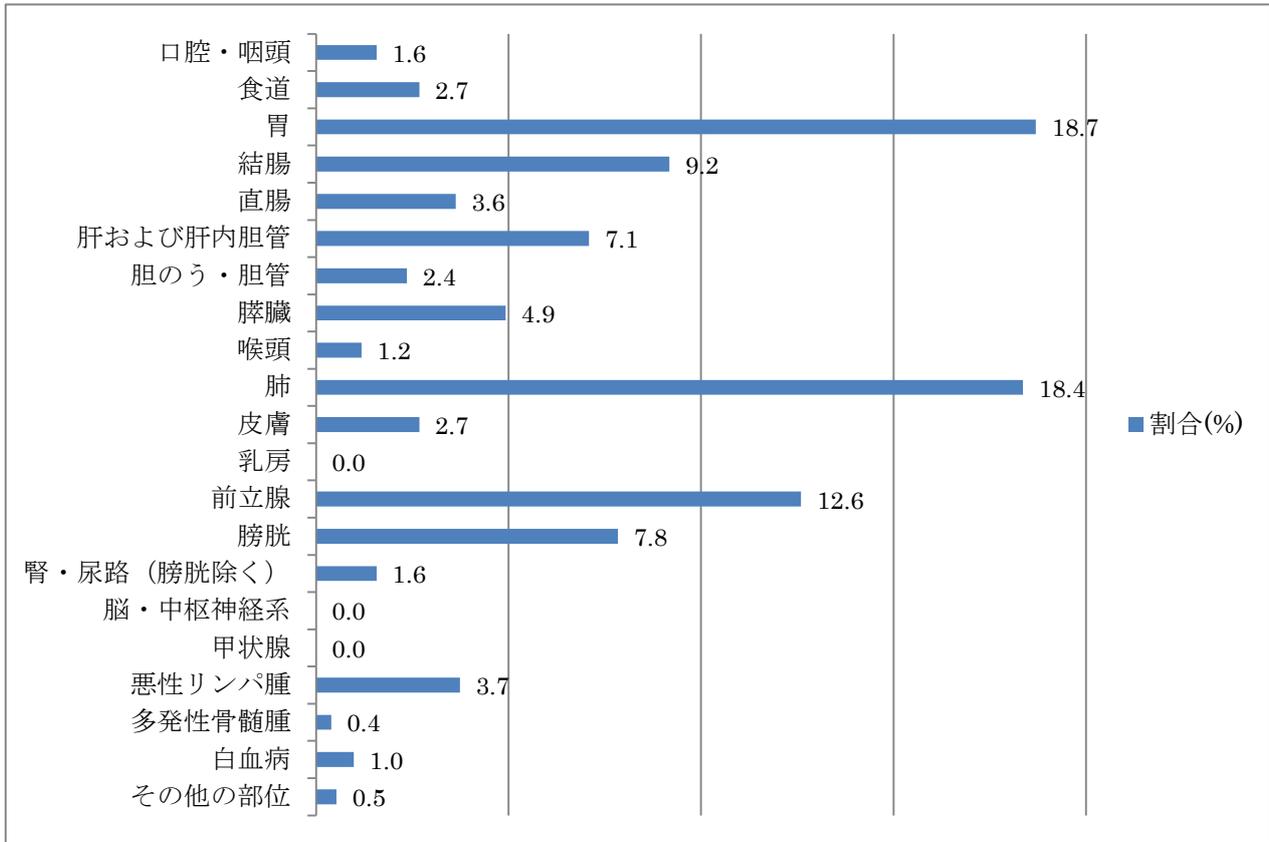


※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

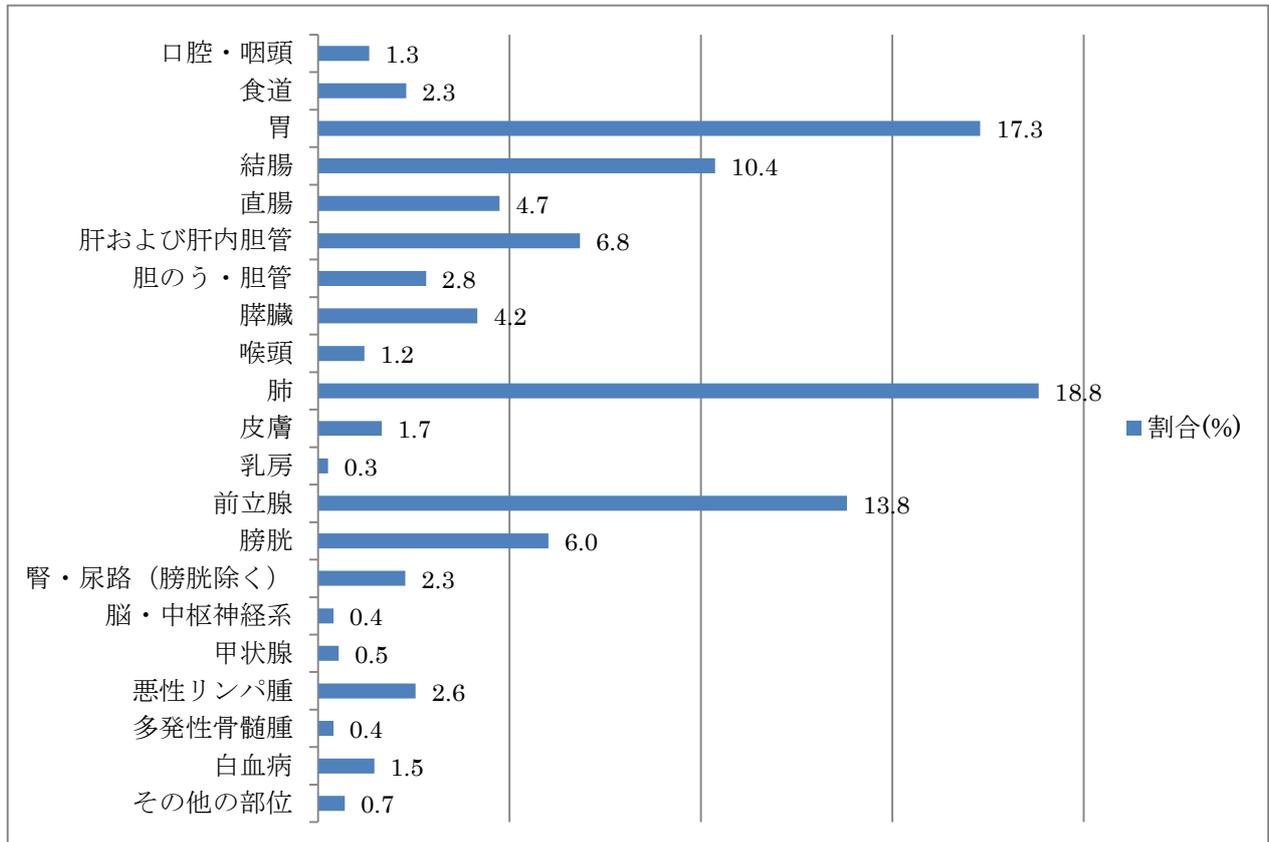
年齢階級別罹患割合：部位別、性別（男性） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

年齢別では、80 歳以上になると胃がん、肺がん、前立腺がんが高い罹患率を示している。

【85 歳以上】

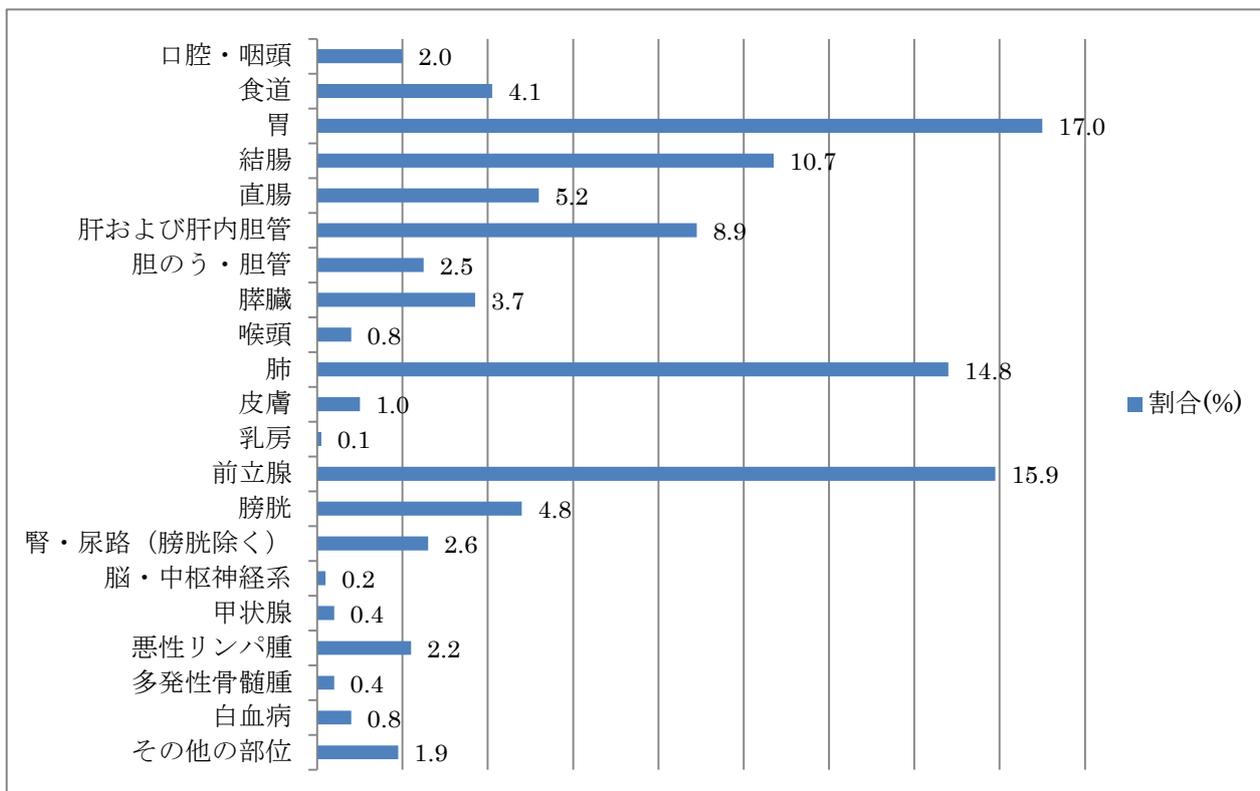


【80-84 歳】

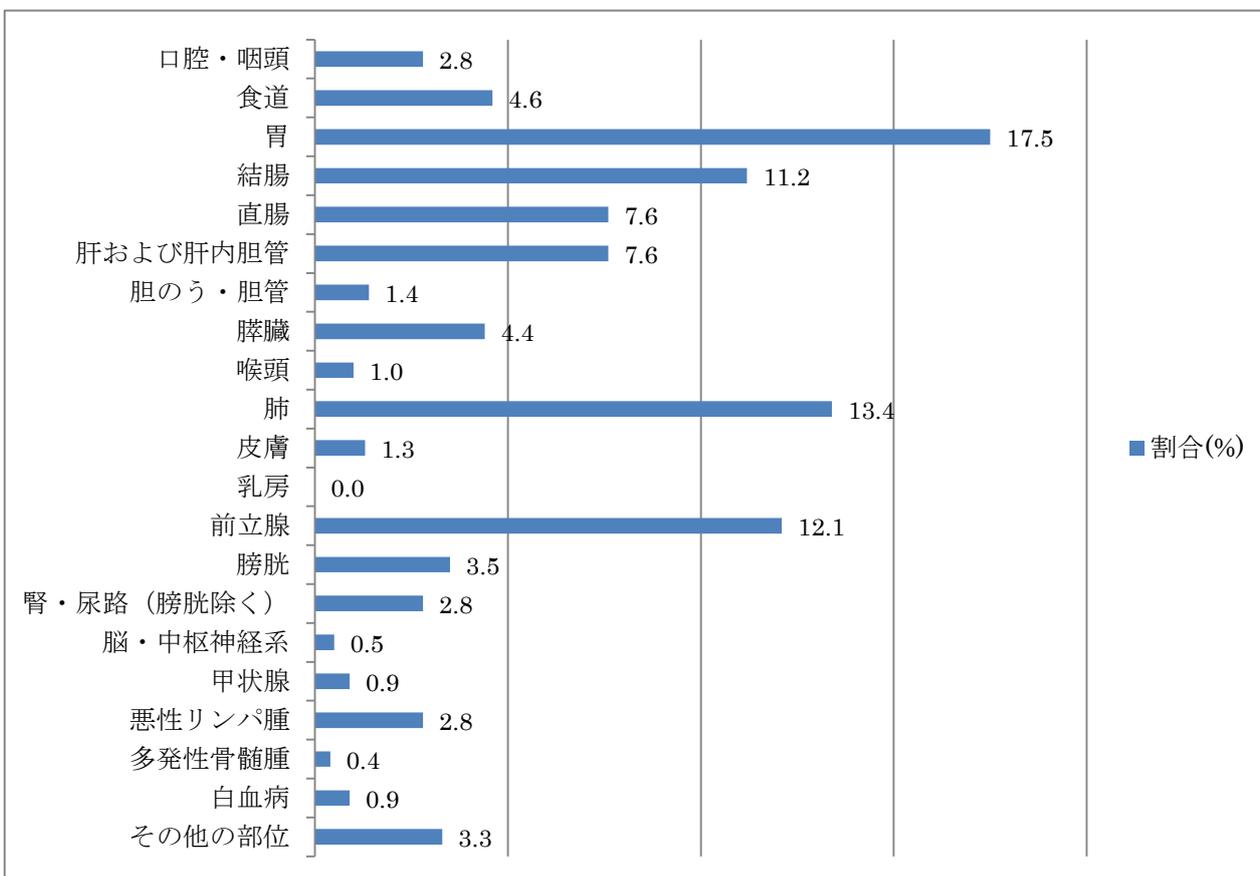


60歳から70歳代では胃がんが最も高い。次いで70歳代では前立腺がん、肺がんが続き、60歳代では肺がん、前立腺がんとなっている。

【70-79歳】

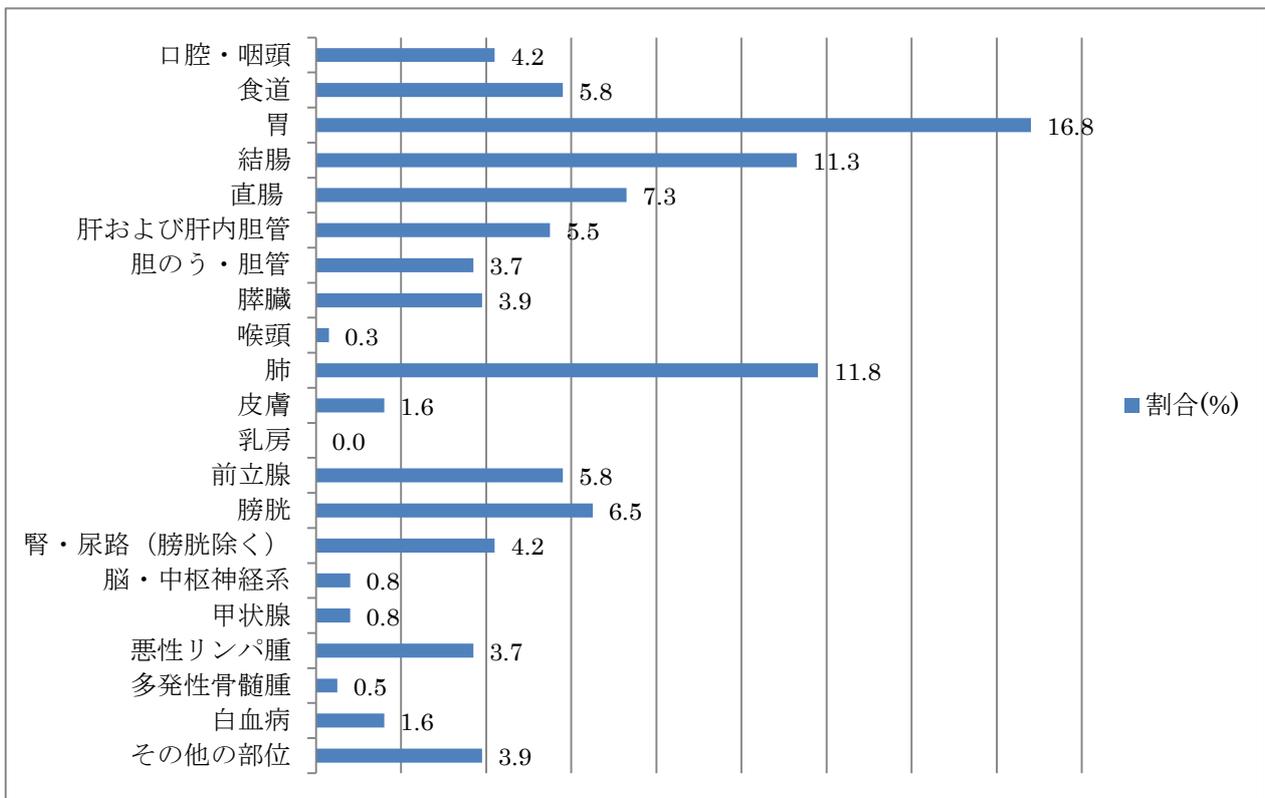


【60-69歳】

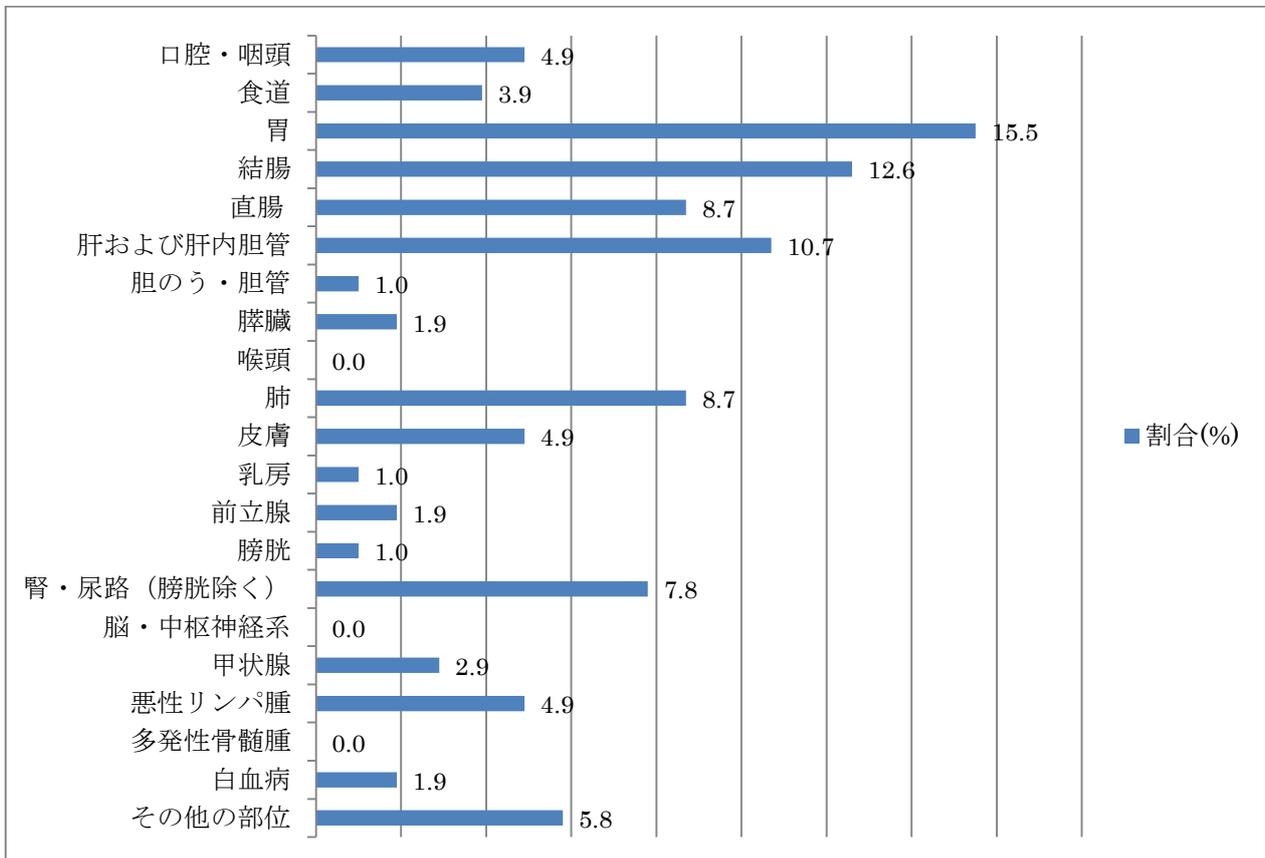


40歳から50歳代でも最も高いのは、胃がんである。次いで50歳代では肺がん、結腸がん、直腸がんと続き、40歳代では結腸がん、肝および肝内胆管がん、直腸がん、肺がんとなっている。

【50-59歳】

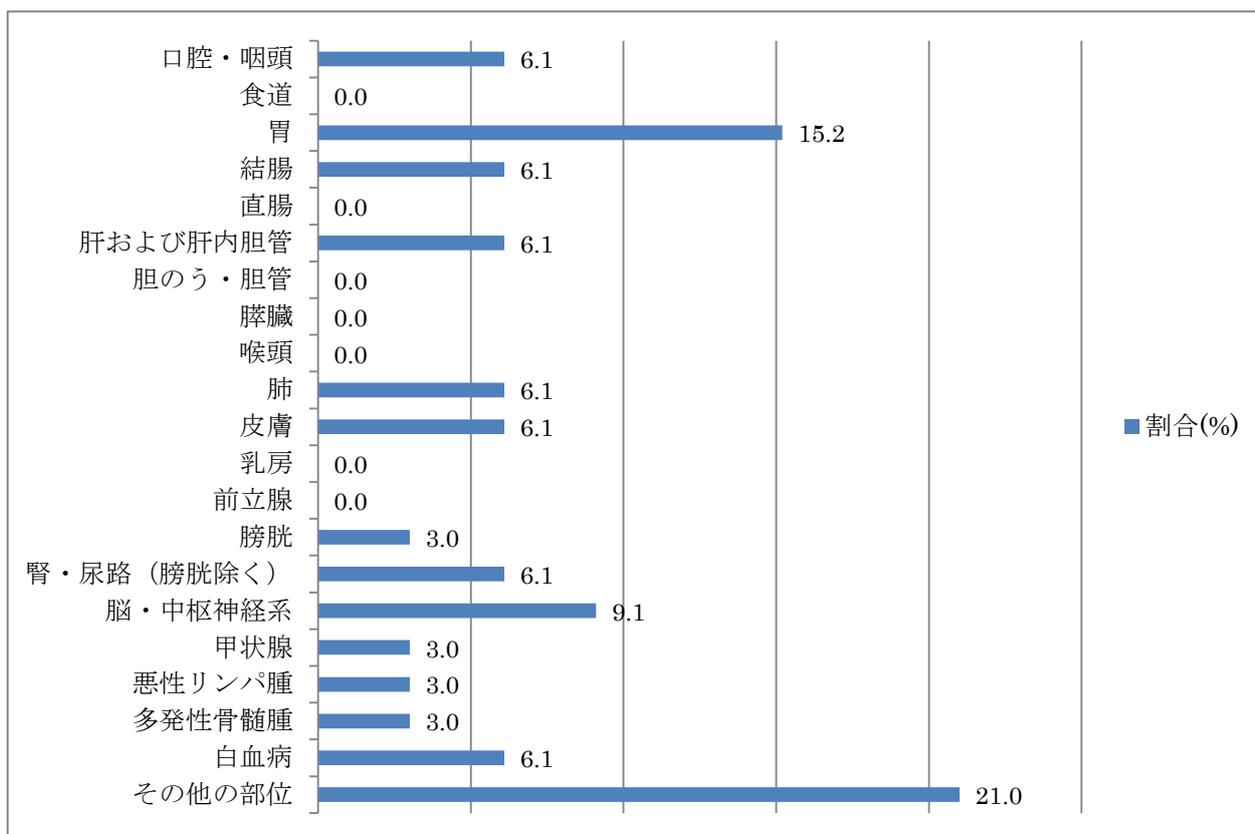


【40-49歳】

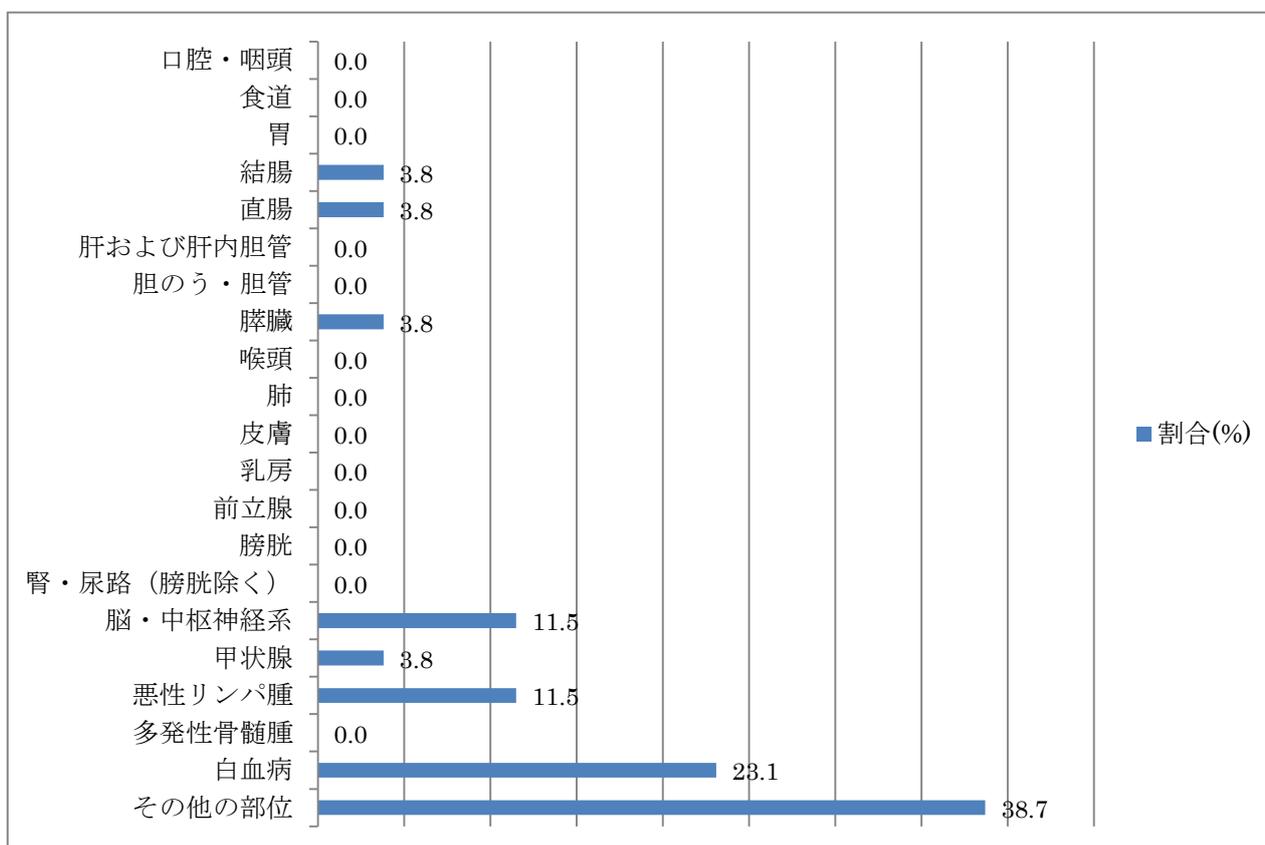


30歳代のその他部位の大部分を占めているのは軟部腫瘍であり、次いで胃がんとなっている。20歳代以下のその他部位は精巣がんがほとんどで、次いで白血病となっている。

【30-39歳】



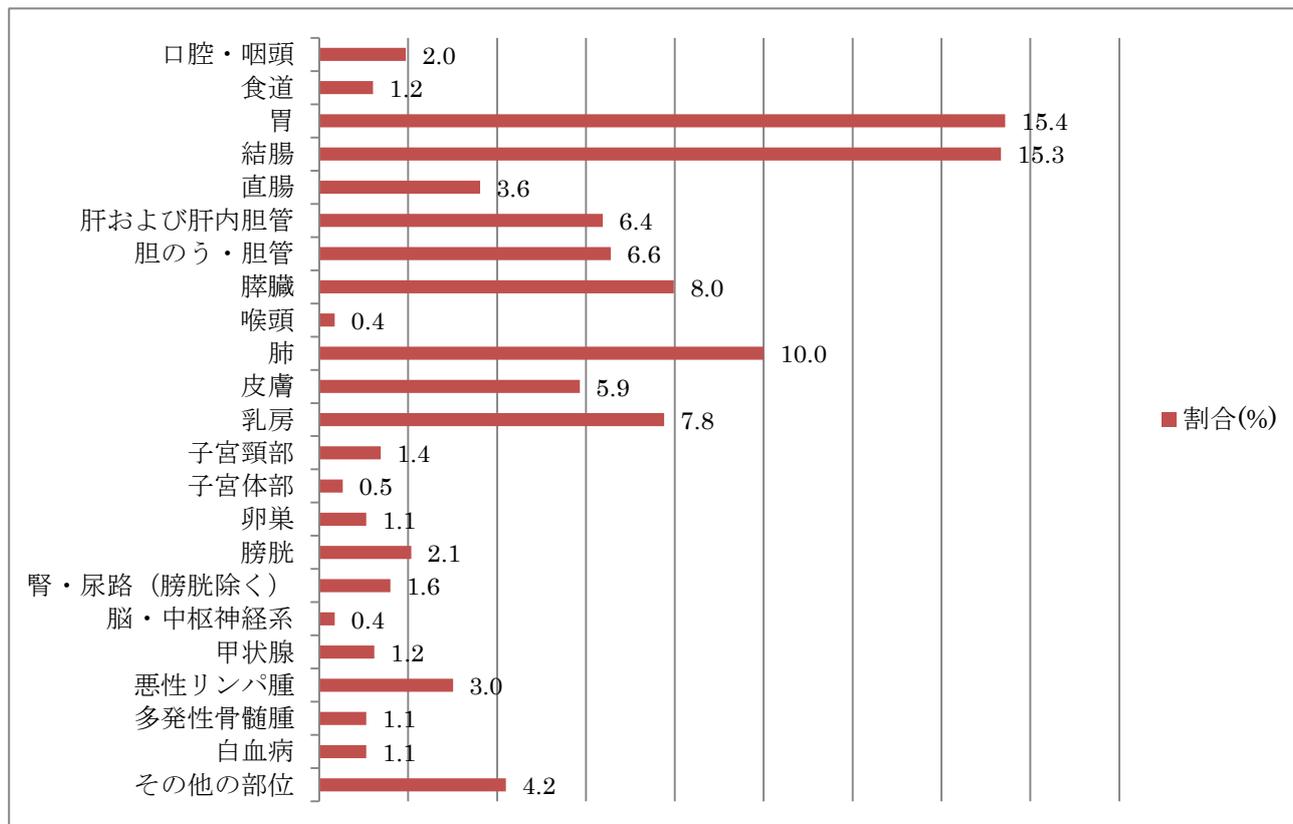
【0-29歳】



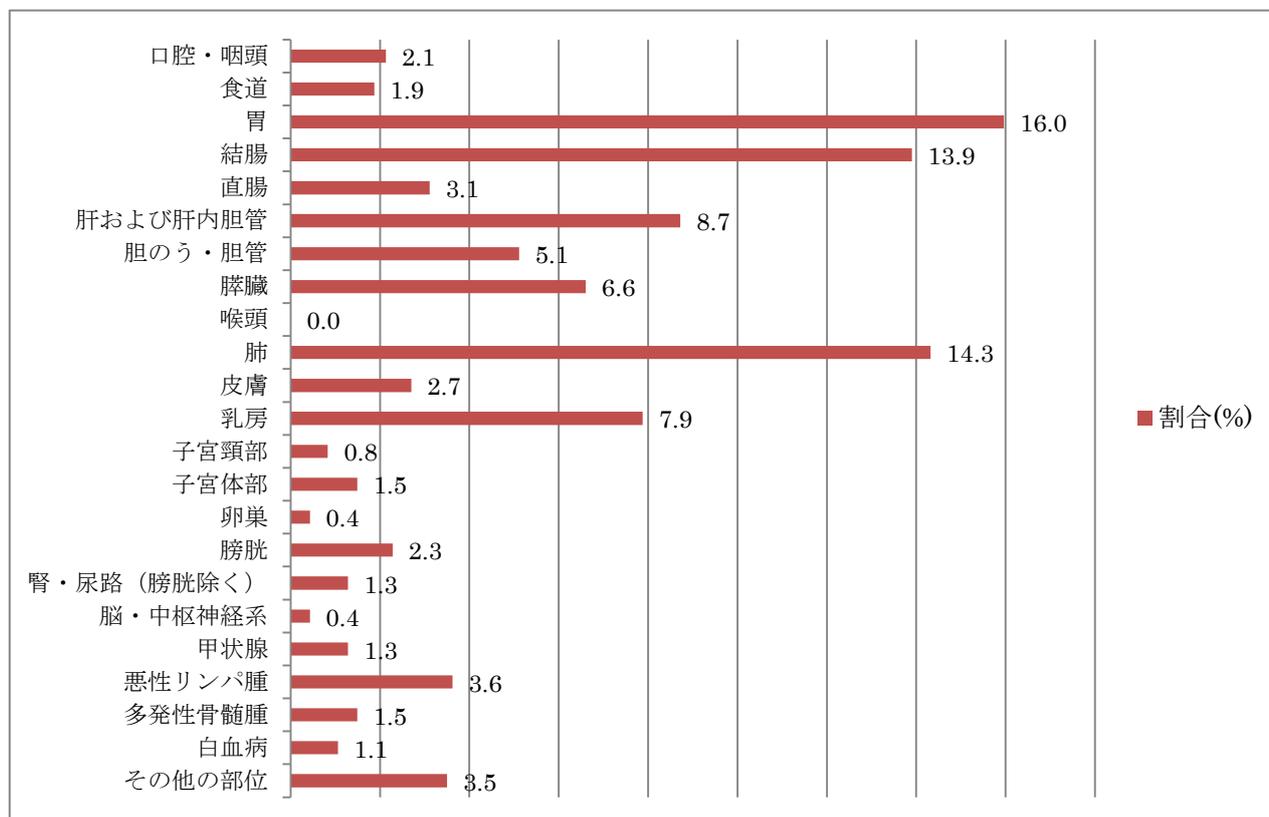
年齢階級別罹患割合：部位別、性別（女性） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

年齢別では、80 歳以上で最も高いのが、胃がんであり、結腸がん、肺がんが続く。

【85 歳以上】

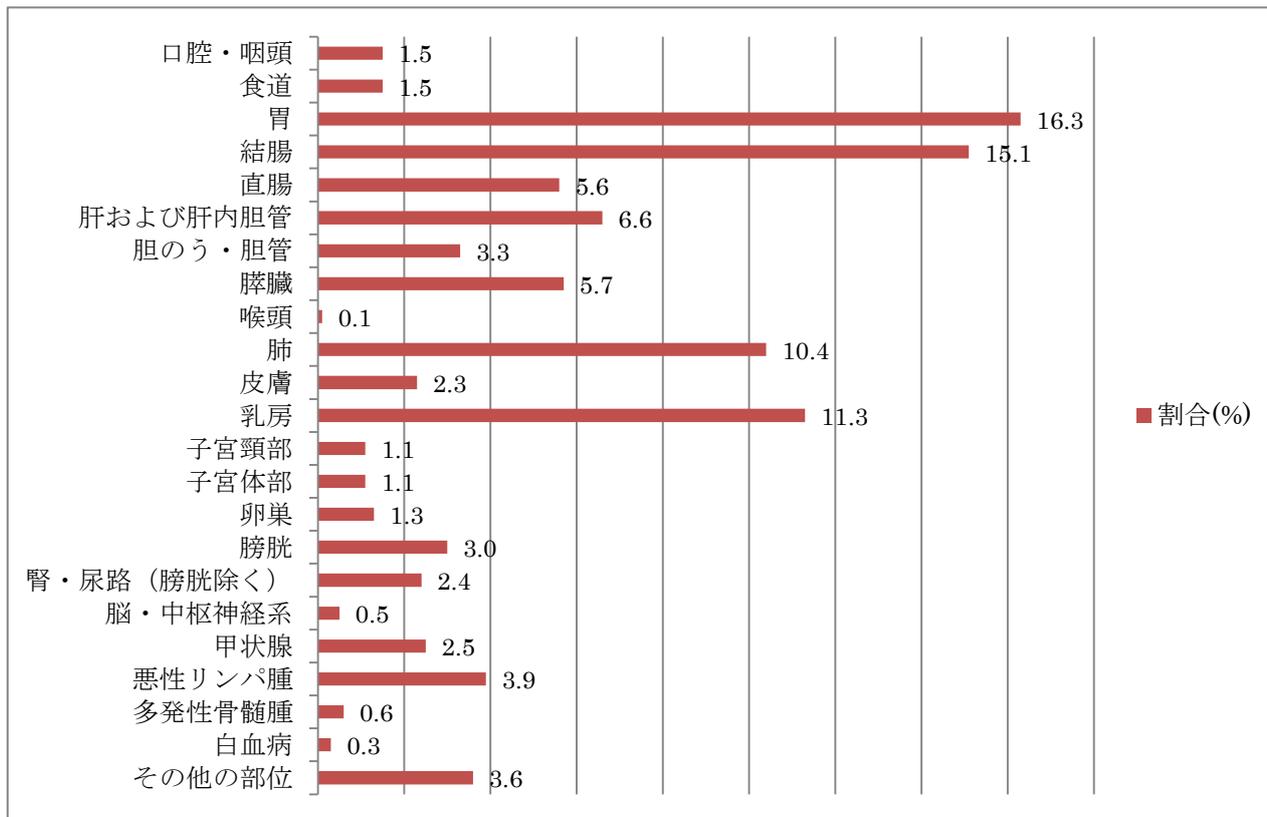


【80-84 歳】

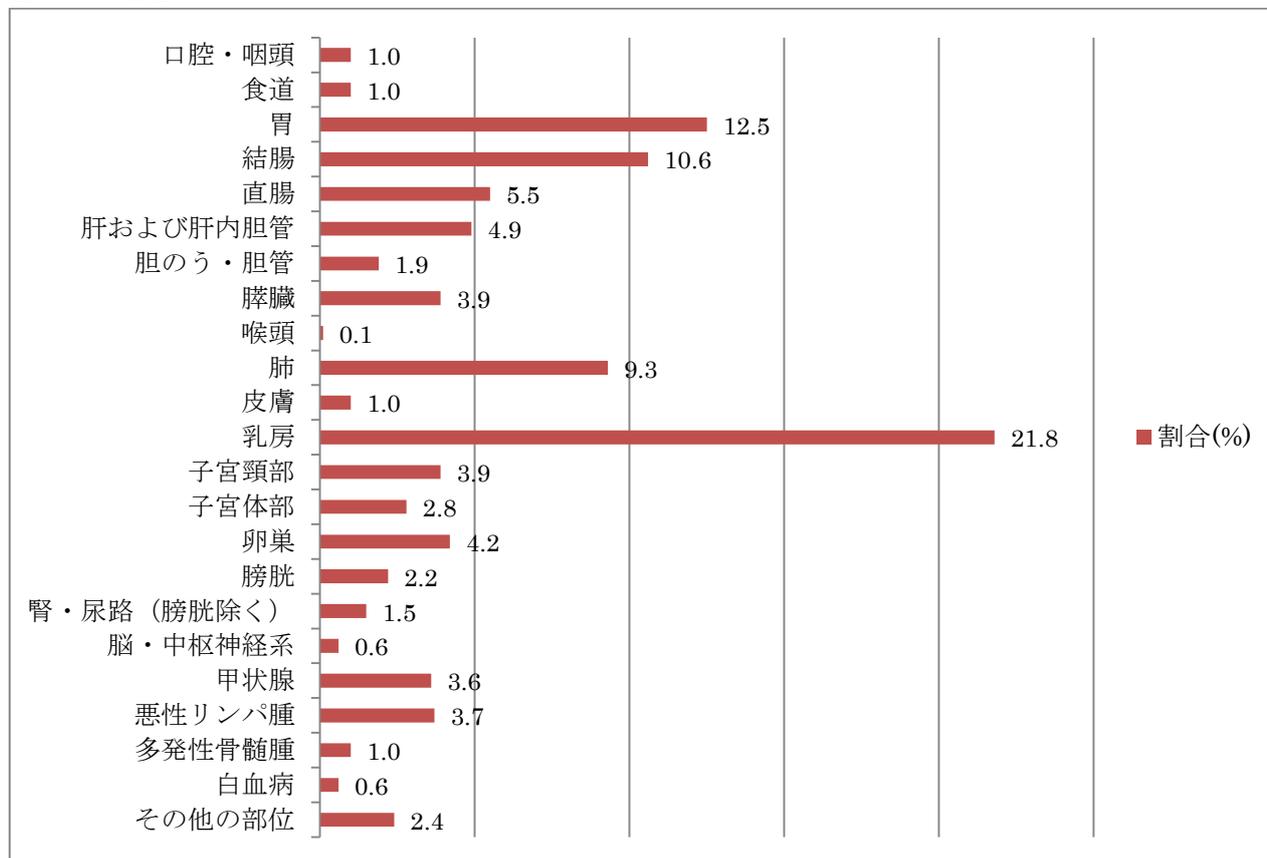


70歳代では、胃がん、結腸がんが高く、60歳代では乳がんが最も高く、次いで胃がん、結腸がんとなっている。

【70-79歳】

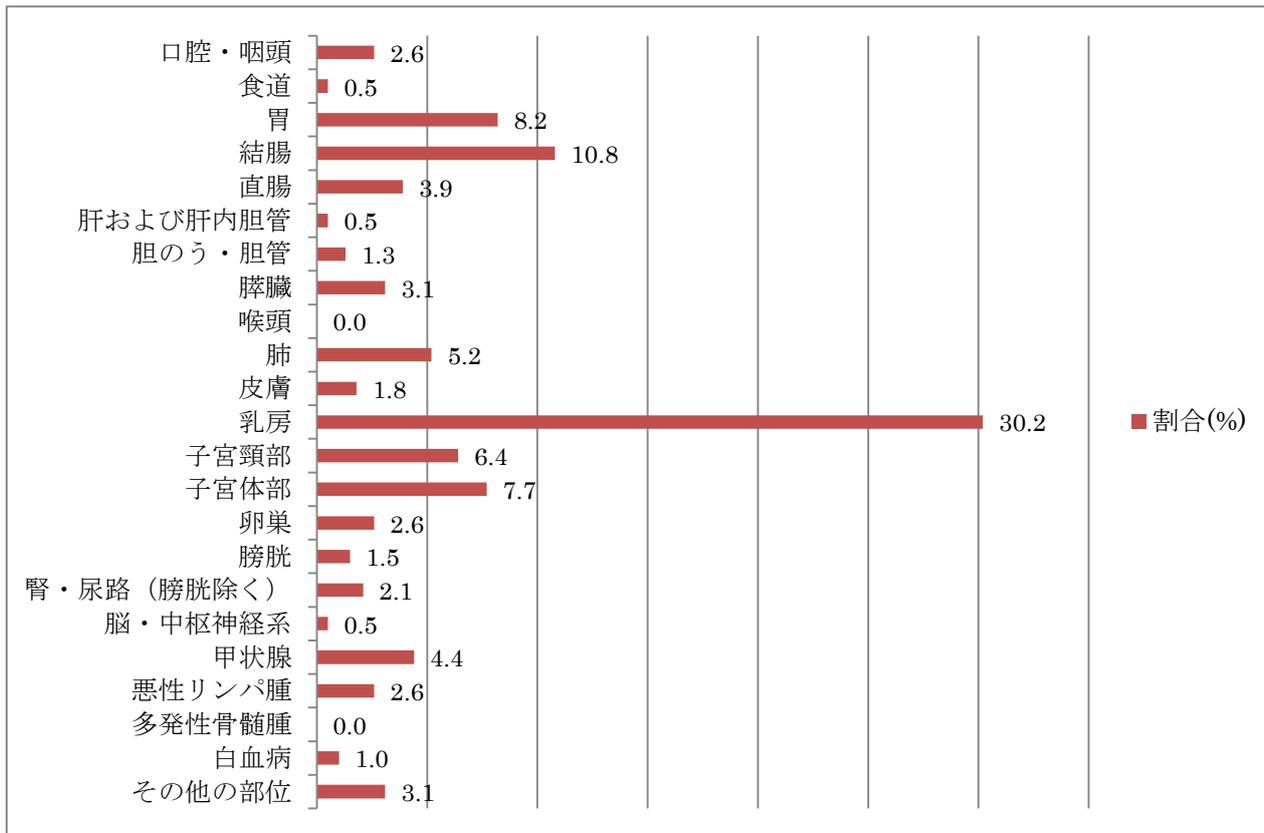


【60-69歳】

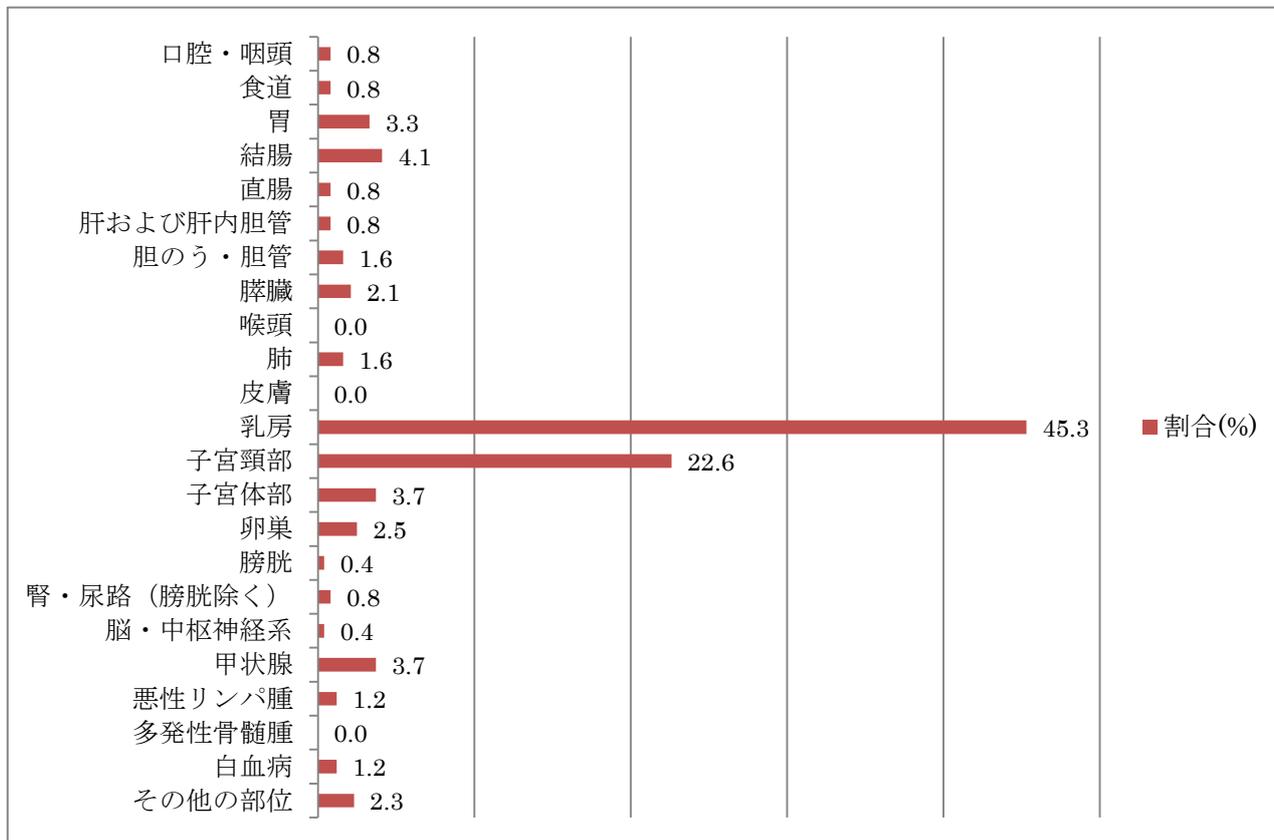


40歳から50歳代になると、乳がんが最も高くなっており、40歳代では子宮頸がんも多い。

【50-59歳】

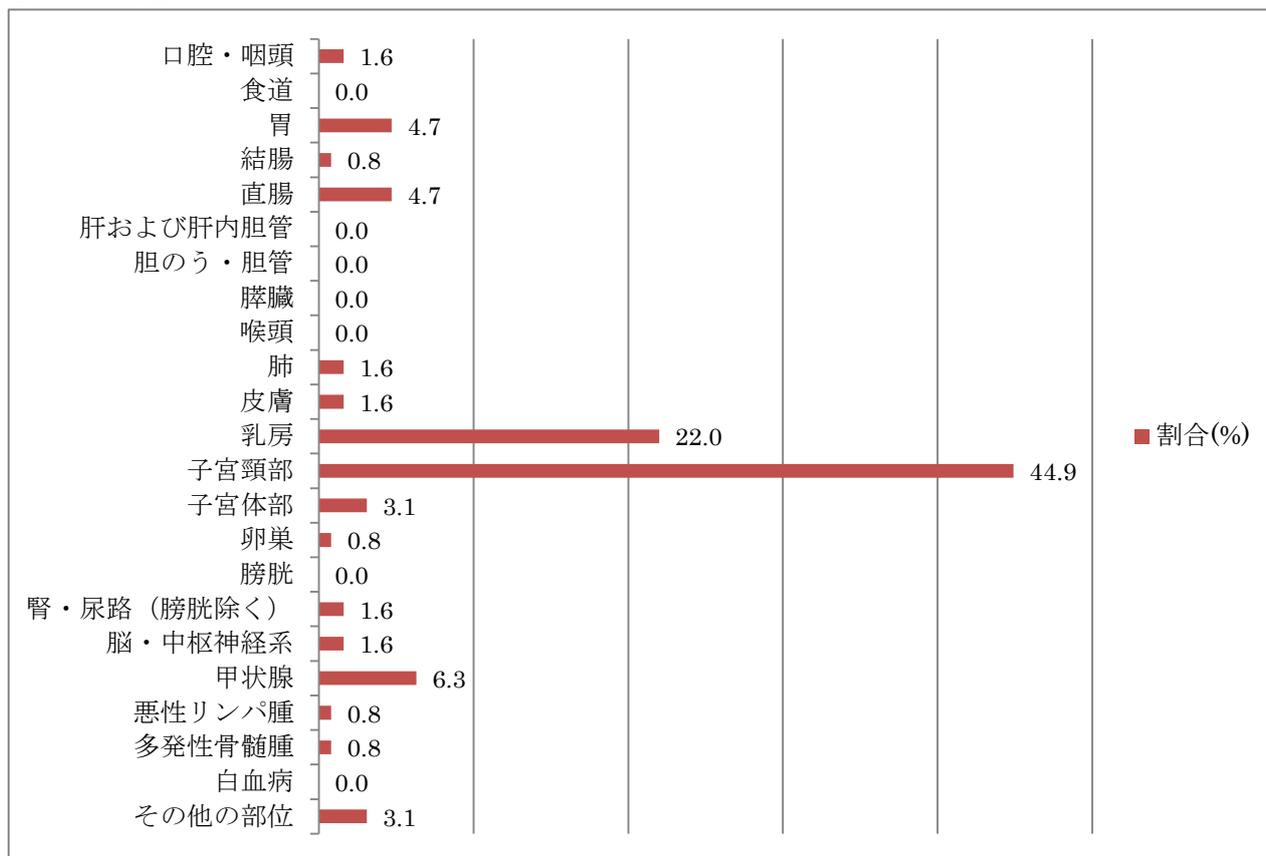


【40-49歳】

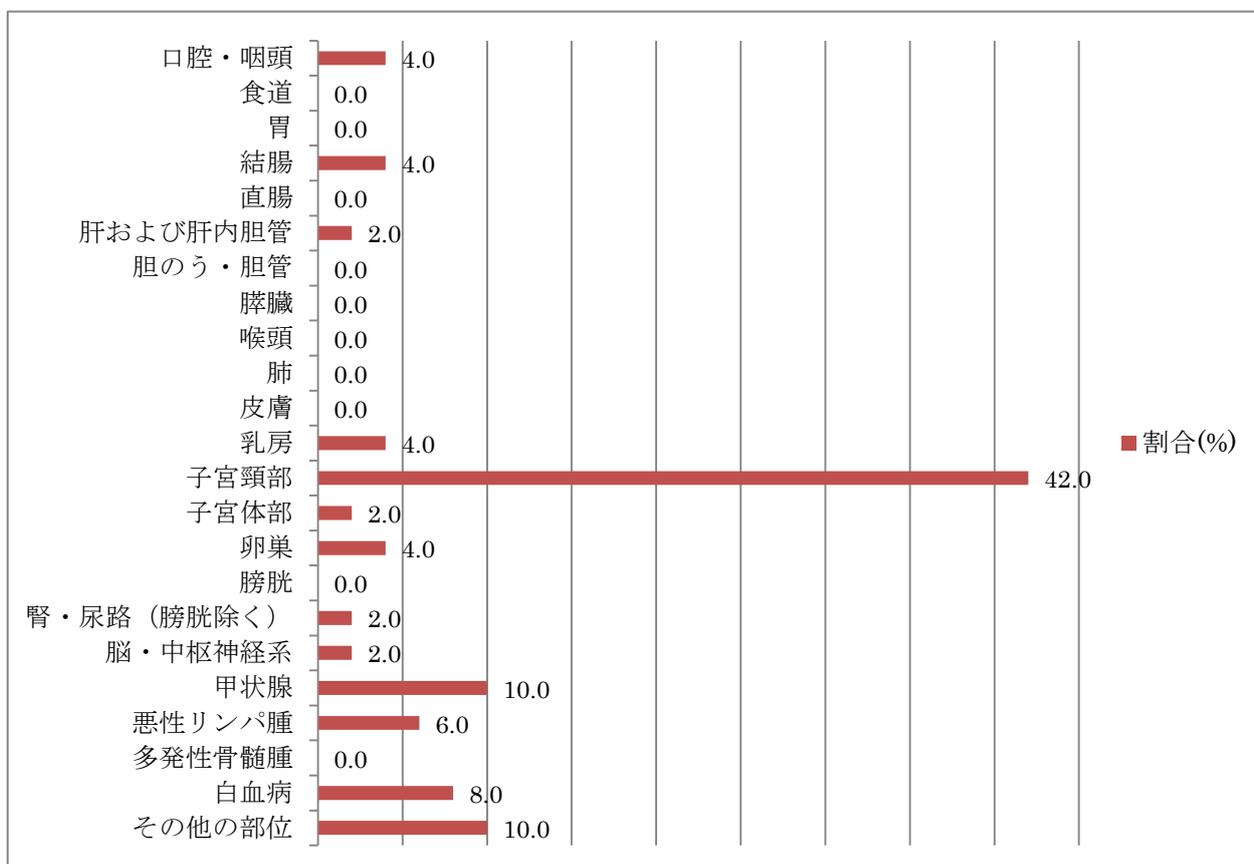


29歳代以下では子宮頸がんが最も高く、30歳代では乳がんも高い割合となっている。

【30-39歳】



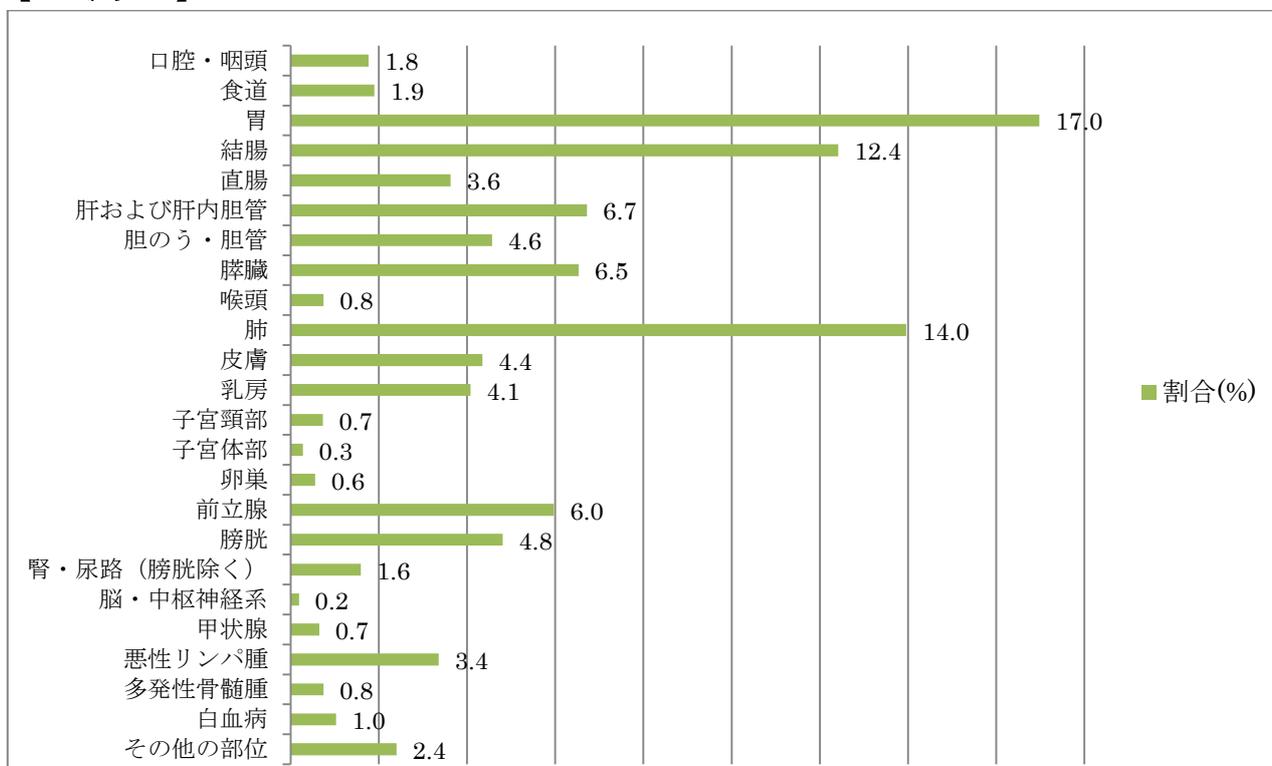
【0-29歳】



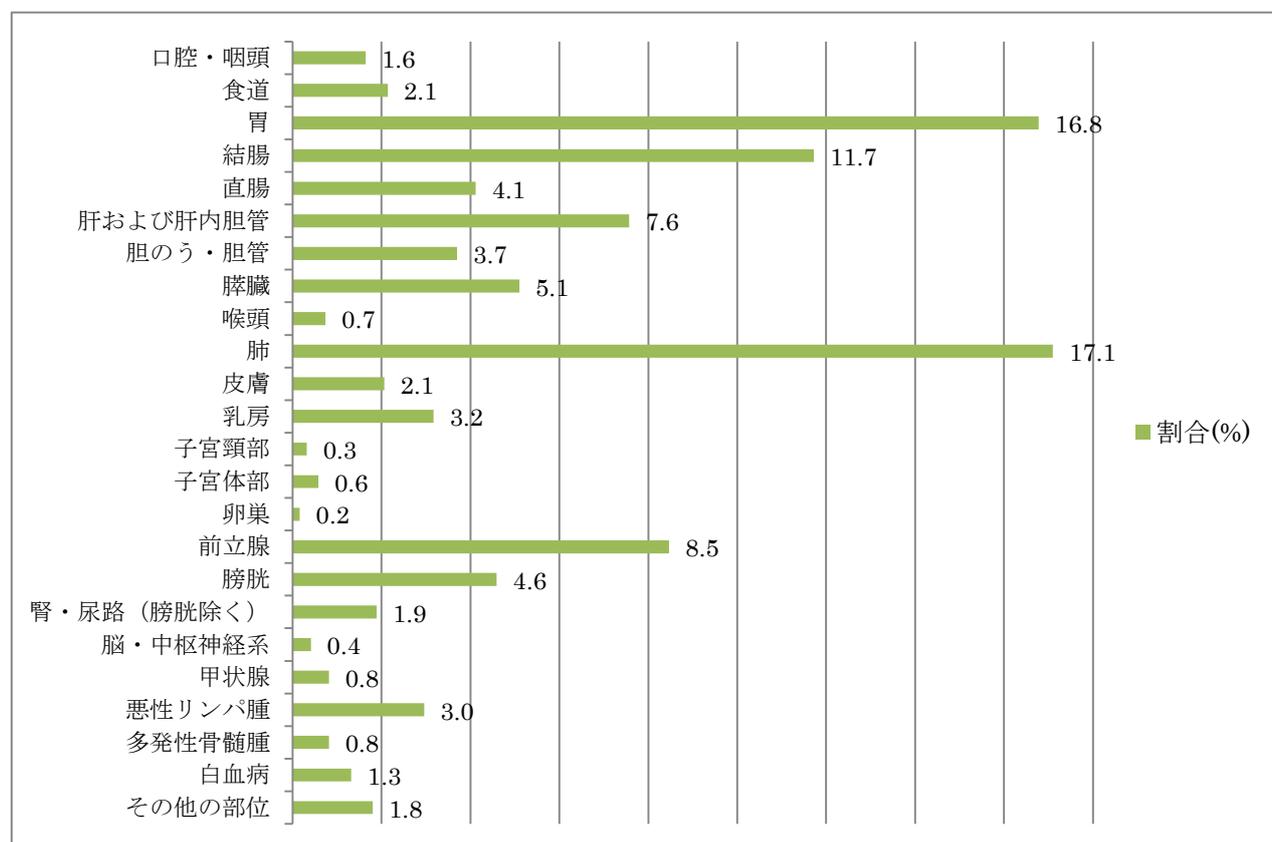
年齢階級別罹患割合：部位別、性別（男女計） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

年齢別では、60 歳以上では胃がん、肺がんの占める割合が高く、40 歳～50 歳代では乳がんの占める割合が高い。また 39 歳以下では子宮頸がんやその他の部位が高い割合となっている。

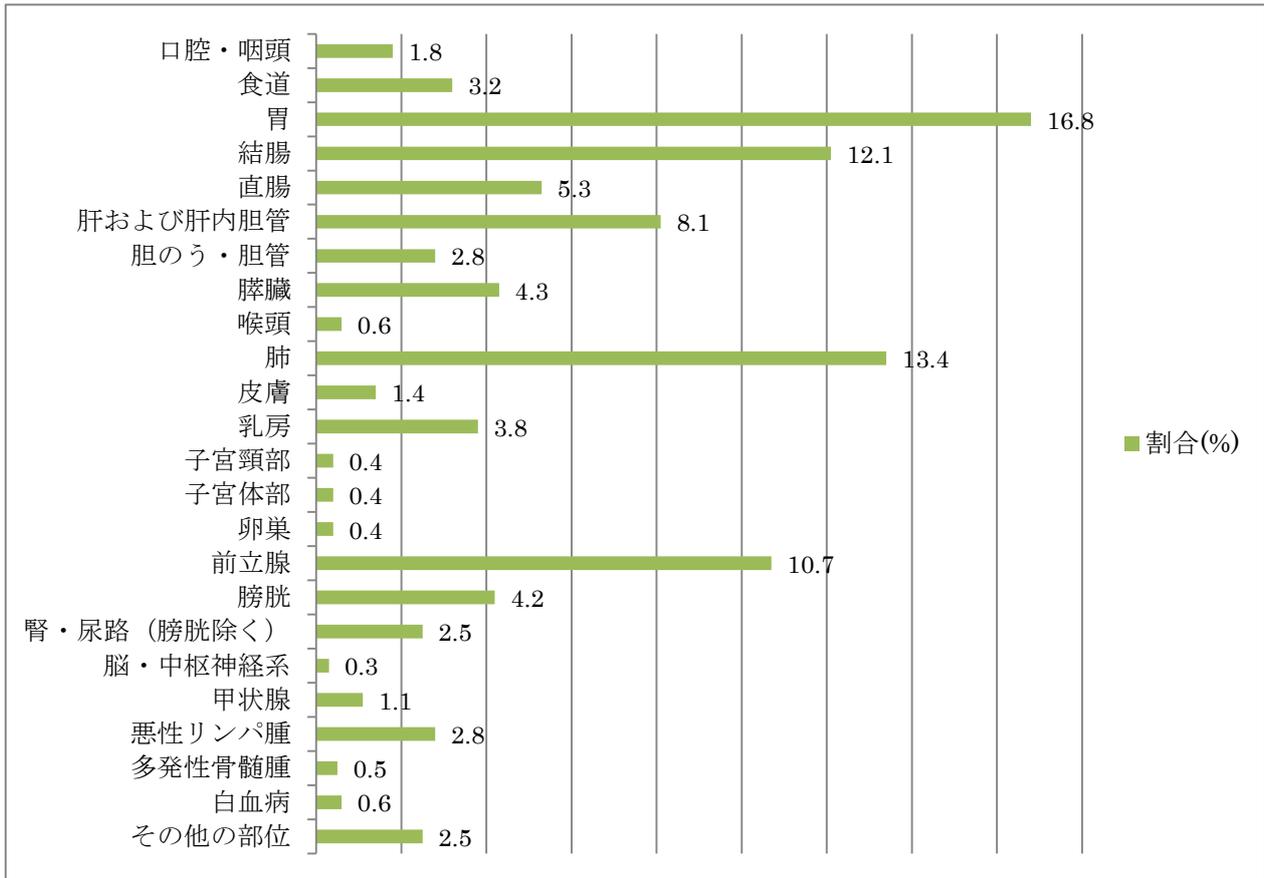
【85 歳以上】



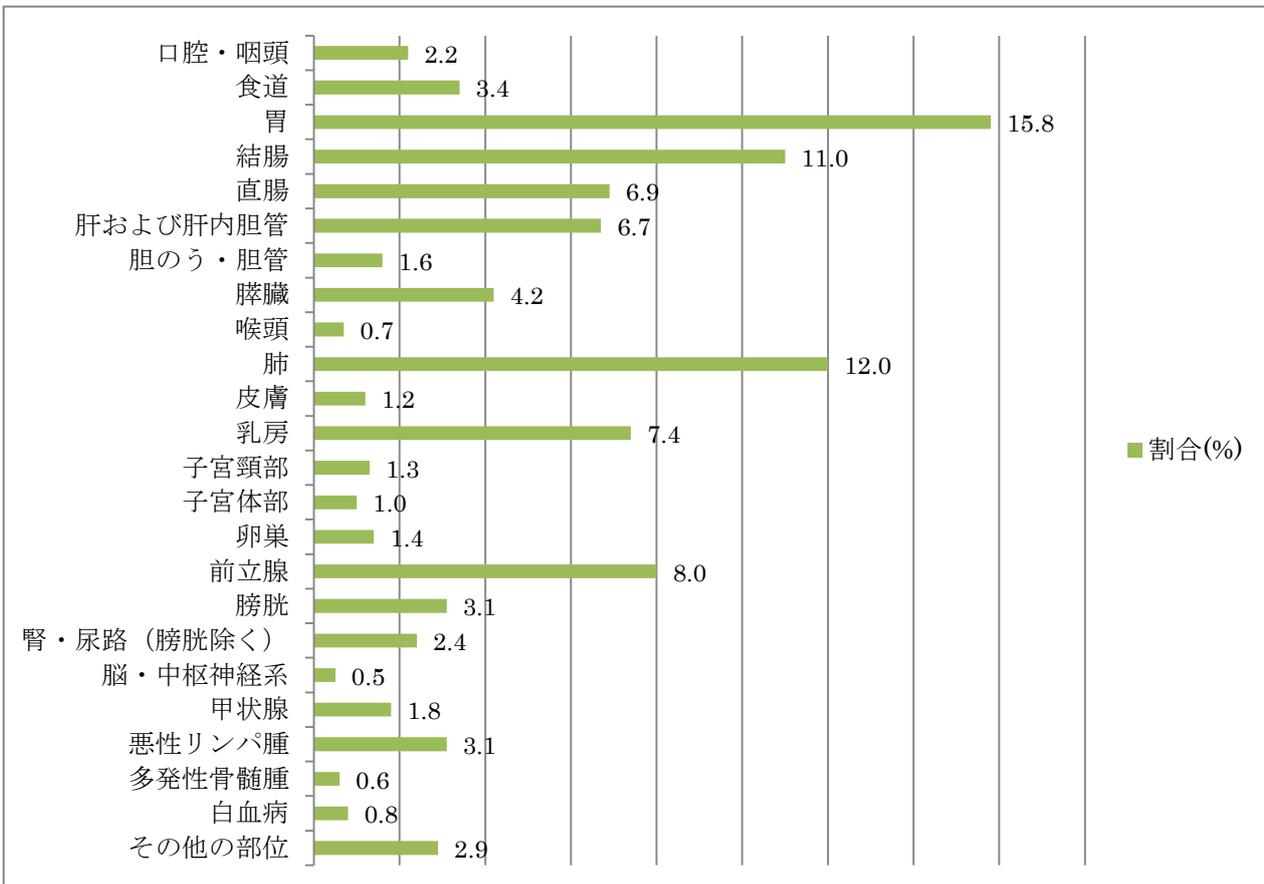
【80-84 歳】



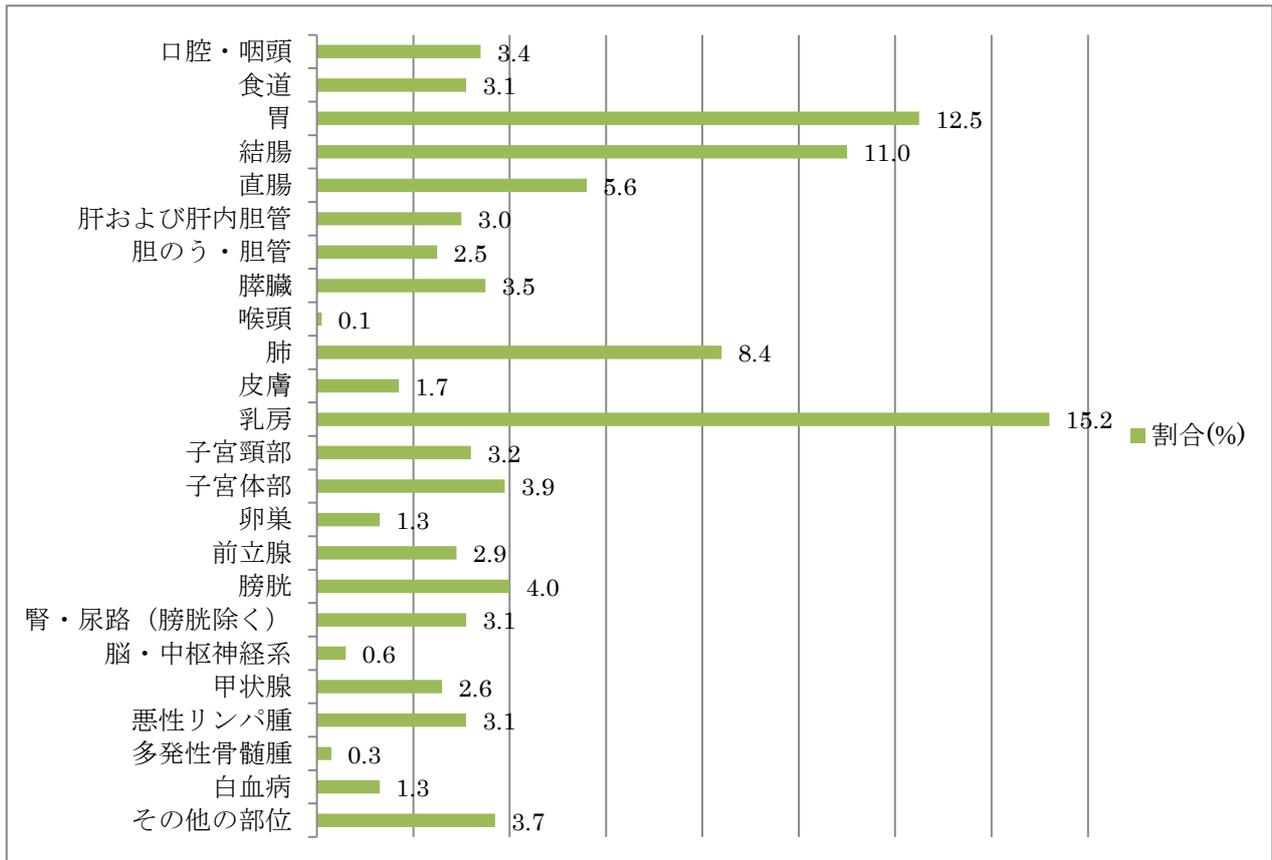
【70-79 歳】



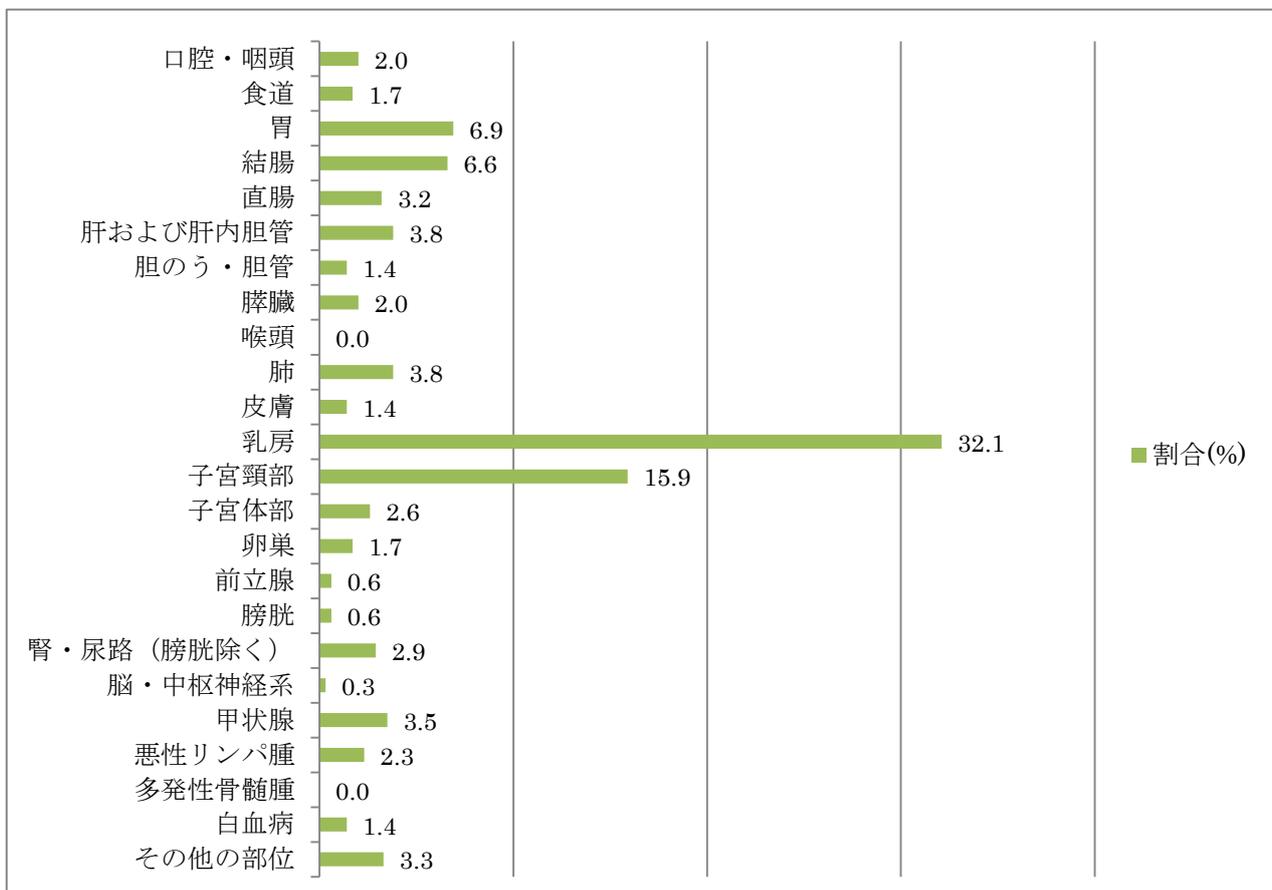
【60-69 歳】



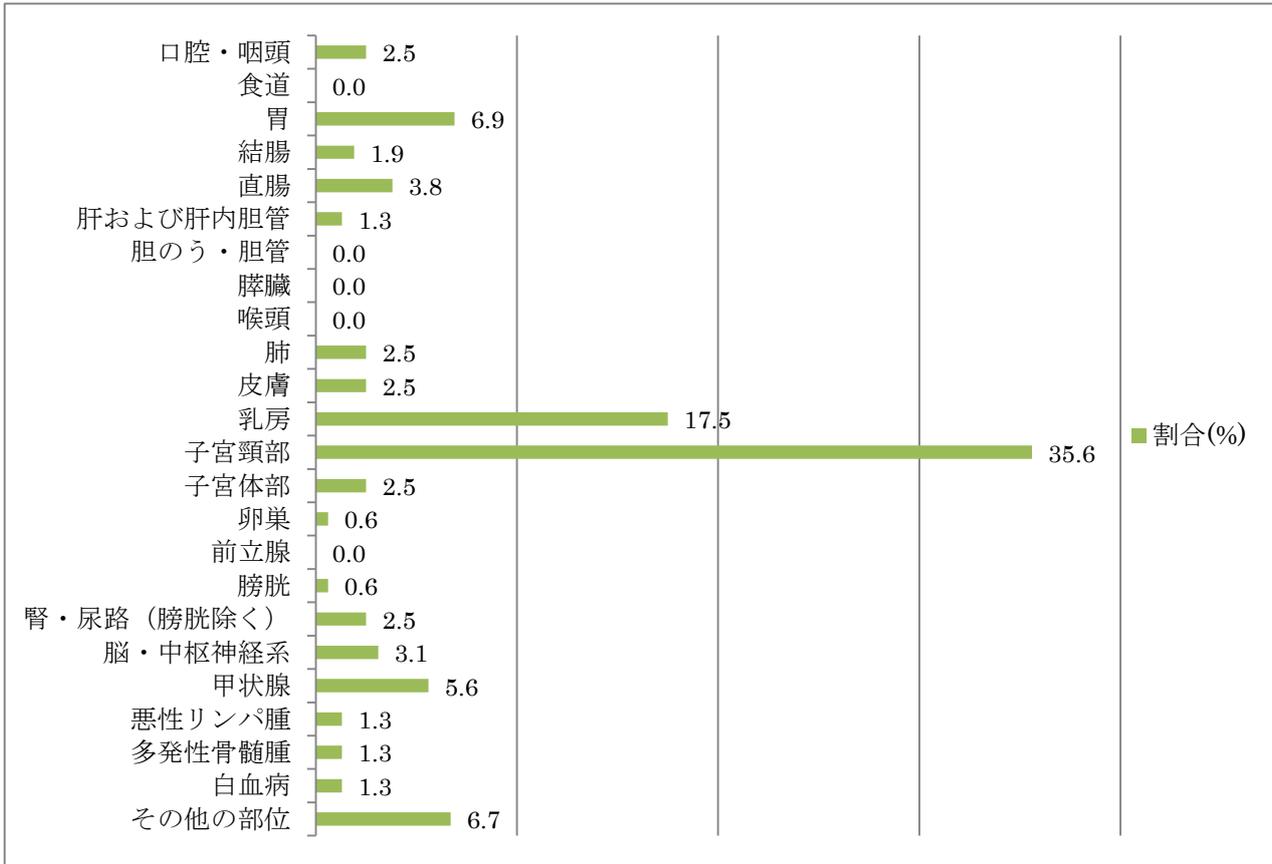
【50-59 歳】



【40-49 歳】



【30-39 歳】



【0-29 歳】

